

結め海科通信

上原小学校
R5.7.27
No.01

本校の海洋教育に対するご理解とご協力ありがとうございます。本校は令和3年度から「結め海科」として海洋教育に取り組み3年目になります。海洋教育とは、海に関する学習のことを言います。本校では、①海に親しむ、②海を知る、③海を守る、④海を活用するの4つの視点で取り組んでいます。1～6年生までの6年間を通して、これらの学習を行い、海洋教育への興味・関心を高めていきます。

海洋教育のねらい「竹富町海洋教育基本計画」より

【目指す子ども像】

我が島、我が町と海ぬ美しさに誇りを持ち、未来にはばたくばいぬ島っ子

本校の海洋教育の目標

◎海に関わる体験活動を通して、ふるさとに誇りと愛着を持ち、持続可能な上原のまちづくりに関わっていかうとする意欲や態度を養う。

◎海を愛し、未来に向かって守っていかうとする態度を養い、自らの生活のあり方を考え行動しようとする。

◎分析、まとめ、表現などの学習活動を取り入れ、目的や意図に応じて表現する力、発表する力を高める。

上原小学校の3大学習である「魚まき集会」「ビーチクリーン」「防災学習」も結め海科の学習の中の1つです。

上原小学校 海洋教育の三大学習

魚まき集会

単元名

「海だ！魚だ！魚まきだ！」

ビーチクリーン

単元名

「きれいな海をのちの世代に残そう」

防災学習

単元名

「津波から命を守ろう」

【各教科との連携】

- ・各教科等との指導と関連させる。
(横断的な指導)
- ・SDGsの視点から、「学びの過程」や「学習の成果」を家庭や地域に発信。

【他校・地域との連携】

- ・西表島内や竹富町内の学校
- ・沖縄県内や日本全国の学校
- ・地域人材や関係団体との連携

さらに各学年、学習テーマが決まっており、体験的な活動を通して学び、そこからでた疑問や課題解決に向かって、調べてまとめていきます。今年度も子どもたちにとって実りのある学習ができるよう、上原小学校職員一同、一丸となり、進めていきたいと思っています。

各学年の海洋教育の内容

学年	海洋教育の学習内容
1年生	『西表島の海に親しもう①』【海に親しむ】
2年生	『西表島の海に親しもう②』【海に親しむ】
3年生	『海と人との関わりについて考えよう』【海を知る】
4年生	『海と山のつながりを考えよう』【海を知る】
5年生	『西表島の海の環境を考えよう』【海を守る】
6年生	『海と私たちの生活とのつながりを考えよう』 【海を知る・海を守る・海を活用する】

教材化の工夫

◎地域教育資源の活用

- ・地域のひと、もの、ことに進んでかかわりを持つため、校区や地域周辺の自然や人材・行事などの学習素材を調査し、整備する。
- ・児童の学習活動に協力・支援できる人材を募る。

◎教材化の視点

- ・各教科等横断し、地域のひと・もの・ことへ子どもの課題意識がつながるように教材化する。
- ・各教科等で得た知識や技能を総合的に発揮できるように教材化する。
- ・人や自然とのふれあいや道徳などで培った心情をさらに深めるよう教材化する。

問題解決的な学習における学習過程

(1) 課題をつかむ

- ・教科学習の発展として。
- ・行事などへの主体的なかわりから。
- ・生活の中の気づきから。
- ・様々な体験から。

(2) 計画・追究する

- ・どこで、どのような方法で調べるか。
- ・だれに、どのようにして伝えるか。

(3) まとめ・表現する

- ・分かったことや感想を自分の言葉でまとめる。
- ・まとめたことをもとに交流する。
- ・活動をふり振り返り直す。

指導方法・指導体制の工夫

◎学習形態の工夫

- ・学年の枠を超えた異学年での取り組み。
- ・課題別グループによる取り組み。

◎指導体制の工夫

- ・地域人材の活動。
- ・近隣小学校との連携した交流学習。

◎学習環境の工夫

- ・調べ学習に対応できる学校図書館の充実。
- ・町内や県外の学校との交流学習を推進するためのICTの整備、充実。

◎評価の工夫

- ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定。
- ・ポートフォリオを活用した指導の充実。
- ・自己評価、相互評価

子どもたちがもっと海のことを知り、大好きな西表島をこれからも守り続けていけるよう、楽しく学習していきたいと思っています。これからもご理解・ご協力よろしくお願いします。

結め海科通信

上原小学校
R5.7.28
No.02

今年度も下記のねらいのもと、海の危険生物講話、網修理、魚さばき体験などをはじめ、魚まき集会が無事行われました。地域の方、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました!!

- ・自然に親しみ、驚きや感動を持つ中で学習課題を持たせるようにする。
- ・自然の恩恵を受けることによって、自然と関わっているということを実感させ自然を残そうとする心を育てる。
- ・西表近海に生息する魚の名前や特徴を知る。

5/12: 海の危険生物講話 (柳橋 道一さん)



【児童の感想】 (低学年)

- ・まんたがおこったら、ひげがまがるのをはじめてしりました。
- ・なかでも、1ばんゴマモンガラにきをつけたいです。
- ・サメが400年も生きるのが、すごいなと思いました。

5/9: 網修理



5/15: 魚さばき体験 (塩澤 洋さん、津嘉山 和美さん)



【児童の感想】

- ・今日は見たことない魚をさばけてうれしかったです。(低学年)
- ・ウロコ取りを上下下とうごかすと、やりやすかったです。(低学年)
- ・カワハギを包丁でさしても皮が強いから傷もつかないことがわかりました。(中学年)
- ・内臓取りをして、ミーバイの内臓をとっても心臓が動いていてビックリした。(中学年)
- ・コツをつかむのに時間がかかったけど、さばき方がしっかりとわかってきました。(高学年)
- ・ミミジャーとナガジューを三枚に下ろしました。しっかりさばけたことがよかったです。(高学年)